環境学習みえ

2021年12月／三重県環境学習情報センター（四日市市桜町3684-11）年４回発行
表紙の人／特定非営利活動法人 Mブリッジ エシカル推進チームの安原智子さん（中）、山本麻加さん（左）、中川絵美子さん（右） 2021 No.87

冬

「三重×エシカル“ミエシカル”」
～地域や社会を動かす一歩に～

「三重×エシカル“ミエシカル”」～地域や社会を動かす一歩に～

▶「kivi soap」
人と環境にやさしい
パームオイルフリーの石けん。
第4回オンライン
商品レビュー会より
(2021年11月)

◀ベジタブル×ワッフル
「ベジッフル」の製造。

みなさんは普段、どんなものを買いますか。
私たち消費者は、日々、買い物をして食べものや暮らしに必要なもの、サービスを手に入れています。
最近、「エシカル消費」という言葉をよく見かけます。
毎日の私たちの買い物が、世界の未来を変えるとしたら?
エシカルな消費とは、どんなものを選び、どんなものを買うことなのでしょうか。
今回は、Mブリッジ エシカル推進チームの取り組みについてご紹介します。

「エシカル消費」でどんなことが応援できるでしょうか。
具体例の一部を見てみましょう。

※認証機関は他にも多数あり、これらはその一例です。
生物多様性民間参画ガイドライン 第2版（平成29年12月8日 環境省公表）http://www.env.go.jp/nature/biodic/gl_participation/download.html

出典：消費者庁リーフレット「エシカル消費ってなぁに？」

「エシカル消費」とは?

※エシカル(ethical)＝倫理的な・道徳的な

エシカル消費※とは、地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動です。私たち一人一人が、社会的課題に気付き、日々の買物を通して、その課題の解決のために、自分で何ができるのか考えてみること、これが、エシカル消費の第一歩です。私たちが商品・サービスを選択する際に、「安心・安全」、「品質」、「価格」だけでなく「エシカル消費」という基準も大切です。

引用：消費者庁パンフレット「みんなの未来にエシカル消費」

持続可能な開発目標（SDGs）の12番目は「つくる責任 つかう責任」

2015年9月の国連総会で決められた国際的な17の目標のなかにも、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会などと併せて、「持続可能な生産・消費形態の確保」が掲げられています。

引用：消費者庁 エシカル消費特設サイト
Web https://www.ethical.caa.go.jp/
もっと知りたい人はこちら!

Mブリッジ エシカル推進チームが考える エシカル消費とは

私たちが考えるエシカル消費とは、**「未来に寄り添う気持ちをもった消費」**です。
多くの方が、何気なく電気・ガス・水道を使い、欲しい商品を探しにお店に行きます。あって当たり前だからこそ、それらがどこでどんな風に作られ運ばれてくるのかまで考える機会はあまりありません。でも、どの選択も社会や地域に関係しています。だからこそ、その裏側にあるストーリーを考え積み重ねていくことが、今を生きる私たちと、これからを担う子どもや孫の世代まで豊かな社会を残せる選択肢だと思います。この三重県には数え切れないほどのエシカルなものがあふれています。ぜひ1歩立ち止まり、「エシカル」な視点で商品・地域を見つめてみてください。

「三重×エシカル“ミエシカル”」

商品をエシカル目線で選ぶことが地域や社会を動かす大きな一歩に。

エシカル推進チームの活動名
Miethical（ミエシカル）
松阪市日野町788カリヨンプラザ3F
TEL:0598-23-8400
MAIL:miethical.m@gmail.com
WEB:https://ethical-m.jimdo.com/
Facebook @ethical.m
エシカル推進チーム
Twitter @mbridgeares
エシカル推進チーム
インスタグラム @ethical_miethical
ミエシカル～三重からエシカル情報の発信&通販～
YouTube Miethical エシカル で 検索

【お話を伺った人】
特定非営利活動法人 Mブリッジ
エシカル推進チーム
統括マネージャー
安原 智子（やすはら ともこ）さん

Mブリッジ
松阪市を拠点に活動。コミュニティビジネス、CSRの推進、出版、デザイン、NPO会計など、専門的な知識と技術を持つメンバーが、それぞれのスキルやノウハウを活かして事業を展開。そのなかの事業のひとつにエシカル推進チームがあります。

三重の〝エシカル〟を発信！

Mブリッジのエシカル推進チームは、講師、イベント出展、WEB「ミエシカル」の運営など、エシカル消費を広める活動をしています。安原さんがエシカル推進チームを立ち上げた2012年、まだ〝エシカル〟という言葉もあまり浸透していなかった頃に、県内でいち早く〝エシカル〟に着目した活動をはじめました。

安原さんが三重でエシカルを広めたいと思ったのは、中学時代の3年間を海外で過ごした経験からでした。三重に帰ってきて改めて気づいた地元の良さ。身近だからこそ、その魅力に気づかないということがあるのでは？という想いから、地元の魅力を改めて〝エシカル〟という切り口で紡ぎ伝え、共感し受け継いでいくことを目指してきました。

2012年三重のステキ発見♡
観光ガイドブック「Miethical（ミエシカル）」発行

エシカルの切り口から三重の魅力を伝えます。
北部版と南部版があり、新しい三重の観光を紹介。

2013 年三重の本物を巡る旅エシカルツアー
～みんなで潜入！工場見学！～

エシカルな企業を見学し、商品がどんな想いでどのように作られているかという背景を知るツアー。

そして、2020年度からは独立行政法人環境再生保全機構の助成金を得て、「エシカル消費の啓発活動事業～消費者にできる身近なSDGsとして伝え広げる～」が始まりました。今回はその3つのプロジェクトについてご紹介します。

広めよう！エシカル消費①

買い物に新しい視点を

第4回オンライン商品レビュー会 ～ヤシマ真珠編～

有限会社ヤシマ真珠（伊勢市）

真珠養殖で有名な伊勢志摩。2020年12月に開催された商品レビュー会では、英虞湾の豊かな海で育まれた真珠を使ったアクセサリーをデザイン・販売しているヤシマ真珠の担当者からお話を聞きました。

真珠養殖のお話や、パールのアクセサリーがつくられる背景を知って、消費者代表でもあるモニターが「三重県版 エシカルチェックリスト」を用いて、いかにエシカルであるかをチェックしました。お話を聞いたモニターからは「真珠がエシカルな商品だと知って驚きました！」という声もありました。

YouTube オンラインエシカル商品レビュー会
毎月、紹介する商品がかわります。過去のレビュー会もチェック！

パールのピンブローチを使ってみました！

モニターの感想

- 友人の結婚祝いにもおすすめなお値段だと思いました。
- 普段の洋服や帽子につけてみたら可愛くて、意外と普段着にも使えるんだと思いました。真珠への考え方が変わりました。

商品レビュー会とは

モニターが三重のエシカル商品を利用し、企業担当者から商品のストーリーを聞いたうえで、商品のエシカル度をチェック！ レビュー会の様子を配信しています。レビュー会を通して、商品の背景を考え、エシカルの視点で商品を選ぶきっかけにつながることを期待しています。

▼アコヤガイに真珠核を入れるところ

写真提供：ヤシマ真珠

核入れ後、アコヤガイは海の中へ戻され、育っていきます。真珠養殖は自然に近い形で行われ、人が寄り添いながら管理します。

▼パールのピンブローチとネックレス

ヤシマ真珠WEB
http://yashima-pearl.com/

ヤシマ真珠では時代のニーズに合わせ、気軽に身に着けられるようなパールジュエリーを提案。三重の伝統工芸や産業とコラボし、真珠産業の後継問題や地域活性化にも取り組んでいます。

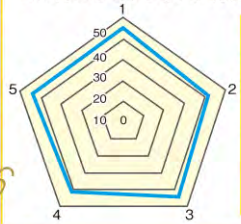
伊勢志摩の真珠がエシカルなわけ

真珠養殖は環境に配慮された持続可能な産業ということもあり、2017年には「鳥羽・志摩の海女漁業と真珠養殖業 －持続的漁業を実現する里海システム－」が日本農業遺産に認定されました。

天然真珠はすべての貝に入っているものではなく、偶然の産物として希少なものであることから、アコヤガイの乱獲が危惧されていました。真珠養殖は天然資源の減少を防ぎ、真珠産業を持続可能なものにしていくという点から伊勢志摩の真珠はエシカルであるといえます。

また、ジュエリーの多くは地球内部で長い歳月をかけてできた鉱物や化石であり、採り尽くせば枯渇してしまいます。「真珠養殖は人が育てられる時間スケールの中で採り続けることができるジュエリーである」というお話も印象的でした。

エシカルチェックリスト総括～ヤシマ真珠様～



1.ローカルメイドであること
2.人や環境に配慮していること
3.地域社会に役立つ仕組みがあること
4.働きやすい職場で作られ、売られていること
5.三重県内の歴史・伝統・文化を未来につなぐものであること

「三重県版エシカルチェックリスト」

チェックリストは製造元・生産者にとっては、よりよい商品の向上につながり、消費者にとっても、エシカルな商品を選択するうえでものさしとなるものです。2017年に有識者のアドバイスや日本エシカル推進協議会の監修を得て、これを作成しました。

広めよう！エシカル消費②

隙間時間に学ぼう

オンラインエシカル講座開設プロジェクト

「エシカルって？」から県内での具体的な取り組み事例まで、幅広く知ることができます。毎日の買い物の中でエシカルを選択し、自分の生活に取り入れるヒントを伝えています。

今年度は11月から2月までの全8回開催。今後の講座についてご案内します。

ミエシカルナビゲーター講座2021

くらしと地域が幸せになるローカル × エシカルな選び方

受講生募集中！
1講座のみの受講も可能！

	講座タイトル・講師	配信期間
第4回	**私たちのくらしは地球環境を変える** 佐野正和氏／三重森林インストラクター会 副会長	2021/12/18(土) ～12/31(金)
第5回	**サステナブルな「これからの伝統」のつくり方** 川西洋介氏／株式会社宮忠 常務取締役	2022/1/1(土) ～1/14(金)
第6回	**使う人も、作る人も、地域も元気になる商品のつくり方** 鈴木恵子氏・吉田みやこ氏／JA多気郡奥伊勢えごま倶楽部	2022/1/15(土) ～1/28(金)
第7回	**エシカルなお金の流れ方～社会をめぐるやさしい循環～** 青木雅生氏／三重大学人文学部 教授	2022/1/29(土) ～2/11(金)
第8回	**SDGsとエシカル消費～みんなの行動が社会をよくする～** 青木雅生氏／三重大学人文学部 教授	2022/2/12(土) ～2/25(金)

対象：どなたでも
エシカルに興味のある方や企業のSDGs担当者におすすめ。また受講後はミエシカルナビゲーターとしてエシカル推進チームの活動への参加が可能です！

受講料：1講座2,200円

配信方法：オンデマンド配信
1回の講座を2週間配信し、24時間いつでも視聴いただけます。

ワークシートを提出すると講師よりコメントがフィードバック！

お申込み方法
ミエシカルの専用サイトからお申込みください。
https://miethical-navigator2021.peatix.com/

JSL JAPAN SUSTAINABLE LABELS ASSOCIATION

第2弾

さまざまな認証ラベルたち

日々の中で何気なく買っているものを
サステナブル・ラベルで
選んでみよう!

FSC®(森林管理協議会)※
Forest Stewardship Council®

適切に管理された森林からの木材や、適格だと認められたリサイクル資源から作られた商品に付けられるマークです。

認証対象品目
紙製品(ノート、トイレットペーパー、ティッシュ等)、木製品(建材、家具等)

GOTS(オーガニックテキスタイル世界基準)
Global Organic Textile Standard

オーガニックの繊維製品の認証マーク。有機栽培(飼育)の原料から環境と社会に配慮し加工されたことを示す。

認証対象品目
繊維製品全般(洋服・寝具・ベビーカー・糸・布・コットンパフ・タオル など)

OCS※
Organic Content Standard

原料から最終製品までの履歴を追跡し、その商品がオーガニック繊維製品であることを証明する。

認証対象品目
繊維製品

RSPO
(持続可能なパーム油のための円卓会議)
Roundtable on Sustainable Palm Oil

パーム油の生産が熱帯雨林や生物の多様性、人々の生活に悪影響を及ぼさないように持続可能な原料を使用、又はその生産に貢献した製品であることを示す。

認証対象品目
洗剤、石鹸、食用油

※認証原料の含有率などにより、ラベルにいくつかのパターンが存在するものもあります。

サステナブル・ラベルとは
持続可能な原材料調達や環境・社会的配慮、生物多様性等につながるさまざまな国際認証ラベルをより多くの方に知っていただくために、日本サステナブル・ラベル協会が命名した総称です。

一般社団法人
日本サステナブル・ラベル協会(JSL)
Web https://jsl.life/

他にもどんなラベルがあるか調べてみよう!

広めよう! エシカル消費③

家庭から"もったいない"を考えよう

食品ロス削減プロジェクト

食べられるのに捨てられてしまう 野菜とお米を有効活用した商品開発!

消費の課題でもある「食品ロス」。エシカル推進チームとサポーターが食品ロスを考えるきっかけにと、企画・開発した商品「にこっとベジ丸」。また、今年10月に販売が始まった新商品「ベジッフル」を紹介します。

「食品ロス削減プロジェクト」サポーターのみなさん。飲食店経験者や料理好きのメンバーが集まって、商品の試作から製造作業に携わっています。

◀「にこっとベジ丸」
2021年3月に発売。野菜の甘みと米粉のもっちり感が楽しめるアレルギーフリーなお団子。

ベジタブル×ワッフル
「ベジッフル」▶
さつまいもやかぼちゃ、ほうれん草などの色々な野菜の味が楽しめるワッフルクッキー。

廃棄野菜の提供。

高校生と一緒に商品の試食。

こちらの商品は地場野菜を販売する「JAみえなか」から提供される廃棄野菜と、県立明野高等学校が生産する「結びの神」の規格外の小米を米粉にしたものを主原料にして作られています。食品ロスを減らす観点から新たに材料を足すのではなく、あるものだけを活用して作ることにこだわりました。何度も試作を重ねながら、誕生した商品です。「ベジ丸」はサツマイモなどの冬野菜をベースに作られていましたが、「ベジッフル」はその季節の野菜を使用できるので、1年を通して製造・販売が可能になりました。

通販サイト「ミエシカル」で「ベジッフル」を販売中!
「ベジッフル」を買って食品ロスに貢献しよう!

みんなでつくる〜パートナーシップ〜

地域の企業や学校のほかに、社会福祉法人ベテスタより施設の調理場を製造場所として提供していただいています。さまざまな機関と連携・協力し、なるべく食品ロスを出さない社会を目指しています。そして消費者が商品を購入することで食品ロス削減に貢献し、社会のエシカルな仕組みを支えることにつながっていくのです。

家庭で食品ロス削減を実践!
〜残った野菜使っちゃおうレシピ〜動画配信

レシピ考案から調理・撮影もやっています!

残った野菜使っちゃおうレシピ
余りやすい野菜を使ったレシピを公開中!
YouTube

地域に根ざすエシカル

エシカル推進チームは、これまで三重のさまざまなエシカル商品を紹介してきました。地域の生産者や産業、伝統工芸を支援する商品や、自然や環境に配慮した商品、就労支援など人につながる商品。このような人や環境、地域社会に配慮した商品が、三重にはまだまだあるといいます。

まだ知られていない三重のエシカルな取り組みや商品を探すため、エシカル推進チームは、いつもアンテナを張って情報収集に努めています。また人と対面することがむずかしくなったコロナ禍でも、オンラインでの配信に挑戦し、動画を撮影・編集してSNSを通じた情報発信を続けています。地域のエシカルを消費者に伝え届け、商品を買っていただく。地域に根ざす活動から、ものと人をつなげていくのです。

安原さんはこれからについて、「エシカルのものさしを持つ人を増やしていくことを目指して、活動を続けていきたい」と話してくれました。

エシカルを暮らしに取り入れよう

今回ご紹介した、地域に根ざしたエシカルは、三重に暮らす私たちにとって、親しみやすく大切にしたいものです。

そして、地域社会の課題を知って、その課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行っていくことが、私たち消費者にできることです。こういった私たちの一つひとつの声や行動の積み重ねが社会を変えていくことにつながっていきます。まずはみなさんの身近にあるエシカルを知り、暮らしの中に取り入れることからはじめてみませんか。

令和3年度の「環境学習みえ」では4回にわたり、〝エシカル消費〟について特集してきました。〝あなたの買い物が世界の未来を変える〟というと、大げさなことのように捉えられるかもしれません。でも〝私にできることをやってみよう!〟と感じるきっかけになることを願っています。

写真提供 Mブリッジ エシカル推進チーム

12 つくる責任 つかう責任

トピックスみえ

令和3年度「三重県地球温暖化防止啓発ポスターコンクール」入賞者一覧

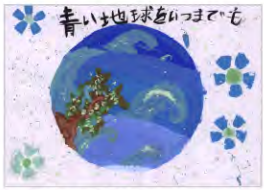
（各賞 順不同・敬称略）

小学生の部

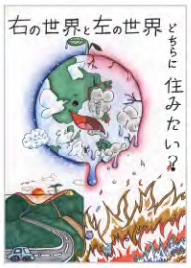
最優秀賞

伊賀市立柘植小学校4年生
松浦（まつうら） 佳市（かいち）

優秀賞 2点



松阪市立粥見小学校4年生
柳瀬（やなせ） 一生（いっせい）



松阪市立鵲（かささぎ）小学校6年生
吉見（よしみ） 桜成（おうせい）

佳　作 5点

四日市市立三重北小学校1年生
松田（まつだ） 篤人（あつひと）

鈴鹿市立飯野小学校4年生
森（もり） 涼音（すずね）

津市立養正小学校5年生
伊藤（いとう） 大翔（ひろと）

伊賀市立成和東小学校4年生
浅川（あさかわ） 永和（とわ）

四日市市立富洲原小学校5年生
田中（たなか） みのり（みのり）

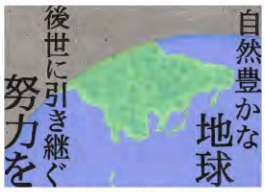
中学生の部

最優秀賞

鈴鹿市立神戸中学校3年生
大西（おおにし） 花音（かのん）

優秀賞 2点

鈴鹿市立白子中学校1年生
澤田（さわだ） あかり



学校法人三重高等学校三重中学校1年生
山口（やまぐち） 理子（りこ）

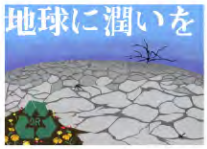
佳　作 5点

学校法人三重高等学校三重中学校1年生
松田（まつだ） 慧（けい）

鈴鹿市立神戸中学校1年生
杉野（すぎの） 麻綾（まあや）

鈴鹿市立神戸中学校2年生
村田（むらた） 美空（みく）

四日市市立富洲原小学校3年生
宮城（みやぎ） 優（ゆう）



津市立橋南中学校3年生
草川（くさかわ） 琉翔（るか）

令和3年度「三重県地球温暖化防止啓発ポスターコンクール」審査講評（一部抜粋）

人間の体温を超えるほどの異常な暑さ、甚大な被害をもたらす豪雨など、残念ながら今年の夏もわたしたちは地球温暖化に由来するさまざまな経験をしました。差し迫った問題を身近なところからひとつずつ捉えることこそ、今わたしたちが地球温暖化防止に対してできることではないでしょうか。問題と向き合うことへ意識を向けさせてくれる作品を今回の審査で選びました。メッセージ（標語）の発信力に加え、ポスターに求められる人目をひく構図や色彩、独創的なアイディアが盛り込まれた作品が賞に輝きました。

【小学生の部】
最優秀賞の「ストップおんだんか」は絵を描く楽しみが感じられる作品です。のびのびと自由に動物や虫を描いていることに加え、生き物やその周囲が汗をかいているような描写や後方に描かれている火山のようすは、地球が暑くなっていることを想像させ、一見楽しい画面ながらもメッセージ性の強さを同時に感じさせてくれました。
このほか、小学生の部では自由に絵に取り組む様子がうかがえました。

【中学生の部】
最優秀作品の「密なんやけど」は、コロナ禍を経験する今の私たちに鋭く響くメッセージが三重の言葉で表現されている点に注目が集まりました。また、絵は細部まで丁寧に仕上げられており、技量の高さも評価のポイントとなりました。
中学生の部は例年以上に力作がそろい、文字のレタリングや画面の構図などに気を配り仕上げられた作品が多くみられました。

講評：令和3年11月17日　三重県立美術館　学芸普及課　学芸員　原　舞子 氏

入賞作品は、三重県総合博物館ほかで展示予定です。くわしくは三重県環境学習情報センターのホームページをご覧ください。

講座 Pick UP! ピックアップ

三重県環境学習情報センターでは家庭や地域、学校などで環境学習を進める人材を養成する「環境学習地域リーダー養成講座」を開催しています。今回は毎年開催している**「みえ星空環境案内人養成講座」**について紹介します。

三重県環境学習情報センターでは、この講座を通して、星と人と環境の懸け橋になる指導者「みえ星空環境案内人」を養成しています。また、全国共通資格「星空案内人（星のソムリエ®）」を目指すことができるのは、三重県内ではここだけです。この養成講座は今回で11回目を迎え、これまでに数多くの「みえ星空環境案内人」が誕生し、地域で活躍しています!

今回、過去に修了されたお二人の体験談をご紹介します。みなさまもぜひ、ご参加ください。

●みえ星空環境案内人1期生

所（ところ） 卓男（たくお）さん

●みえ星空環境案内人10期生

山崎（やまざき） 晶代（あきよ）さん

1 「みえ星空環境案内人養成講座」を受講しようと思ったきっかけを教えてください。

三重県環境学習情報センターでは、毎年幾つもの環境や自然に関する講座が開催されています。10年余り前、センター開催の全講座受講と修了を目指し、その最後の講座が、この講座「みえ星空環境案内人養成講座」（初回）でした。

半世紀以上も前の中学生のころ、実家で見た「天の川」の印象が忘れられません。定年を機に地球環境や自然の事、さらに「天の川」の事がベースで「宇宙のこと」「星空伝説・民話」などをもっと深く習得したいと思っていた時、この講座を知り“即決”で申し込みをしました。

受講のきっかけは、友人が星のソムリエの資格を持っていて興味を持っていたからです。小学生の頃に夜空に浮かぶ星や月に興味を持ちましたが、自分で本を読んだり星座早見盤を見たりするだけではあまり理解できませんでした。自分が大人になり、星に興味を持った子ども達が近くにいたとしたら分かりやすく説明してあげたい、と思っていましたがそのためにはまず、私自身が基本的なことを学んでいないと伝えることができません。

この講座を受けることで星空案内をするにはこれだけは知っておかなければ!ということを学べてとても良かったと思います。

2 「みえ星空環境案内人」になって、ご自分でどんな活動をされましたか。また、今後してみたいことはありますか?

ここ数年、北勢地域の小学校や組織などから「星空観察会」の解説依頼があり、年間10回余り行っています。その時活用するのが、6年ほど前から始めた三重県内　「天の川と“ひかり害”」調査で得た写真や経験談です。現在、日本人口の7～8割の方は「天の川」が、見えないかその危惧がある地域に居住されています。なぜ「天の川」が見えないか?答えは“ひかり害”です。“ひかり害”を減らす行動は、地球温暖化防止の行動と同じです。温暖化対策は、個人だけでなく、地域や県・国で、更に世界で目に見える行動の展開が必要です。そして身近に「天の川」の感激を皆さんとともに共有したいと願っています。

※ひかり害とは、過剰な照明などにより、星が見えにくくなる等の影響がでること

資格取得後は、七夕の時期にあった小学生向けの講座の見学をする機会を得て、キャンプに来ている親子向けに初めての星空案内をしました。あいにくの天候不良で実際の星空案内が出来ませんでしたが、代わりに用意していた12星座にまつわる話をしたところ子どもたちの返答が素早く「みんな星座のことをよく知ってるし興味があるんだな!」と感じ、また私の話に「へー、そうなんだ!」と反応があるととても嬉しく思いました。今後も勉強を重ねて経験を積み、子ども達の興味や疑問に答えることのできる星空案内人を目指していきたいと思います。

環境学習地域リーダー養成講座

「みえ星空環境案内人養成講座」～星と人と環境のかけはしになろう～

令和3年度も開催します!

この講座は、星や宇宙、空の環境について知り、伝えていく方を養成する連続講座（全3回）です。
星や宇宙に興味があり、地域での案内人を目指す方はもちろん、
家族や友達など身近な人への案内人になりたい方も大歓迎です。ぜひお申し込みください。

初心者でも、丁寧に教えるので安心!

日時、会場　※科目などの詳細は、チラシまたはホームページをご覧ください。

第1回　2022年2月20日（日）10:00～17:45
会場　三重県環境学習情報センター（四日市市桜町）

第2回　2022年2月26日（土）10:00～18:15
会場　四日市市勤労者・市民交流センター（四日市市日永東）

第3回　2022年3月5日（土）　13:30～18:45
会場　鈴鹿馬子唄会館、鈴鹿峠自然の家天文台「童夢」（亀山市関町沓掛）

募集人数　15人（応募者多数の場合は抽選）

対　象　三重県内在住の16歳以上の方　※原則、全日程受講できる方

申込締切　2022年1月19日（水）

参加費　3,500円
※別途、教科書「星空案内人になろう」（技術評論社1,580円＋税）をご用意ください。

共　催　四日市市勤労者・市民交流センター

協　力　坂下星見の会、テレスコープセンター アイベル

星空案内人® 資格取得について<全国共通>

この講座では、講座受講と単位認定レポートを提出することにより、「準星空案内人」の認定書が交付されます。その後、実技試験を行い合格し基準を満たすと「星空案内人（星のソムリエ®）」の資格を取得できます。

センターNEWS

はみだしNEWS：メルマガ登録者をE-mailで募集中。氏名（ふりがな）、mailアドレスを明記し、info@eco-mie.comまで送信してください。

動画配信のお知らせ

三重県環境学習情報センターでは、動画を配信しています。センターホームページの動画配信のアイコンをクリックすると、公開中の動画を見ることができます。
今回は、最新の動画を紹介します。

トンボになろう！～ヤマサナエ ヤゴ上陸～

ヤマサナエのヤゴの上陸→羽化→トンボのハネが伸びるまでの4部作です♪

ムカシヤンマのお食事

むしゃむしゃ トンボがエサを食べているところって見た事あるかな？

「はやにえ」って知ってる？

「モズのはやにえ」って知ってますか？
あんなものや、こんなものまで…

ノアザミの秘密

大事な花粉は無駄にしない！
ノアザミの巧みな戦術をご覧あれ!!!

ぜひ、こちらからご覧ください♪
https://www.eco-mie.com/video_stream/

冬のエコフェア2021 ～高校生の環境活動発表会～ を開催します。

今年も新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、
オンラインでの開催となります。
どなたでも発表を聞くことが出来ます。
ぜひ高校生たちの環境活動を応援してください！

日　時　2021年12月18日（土）13:00～16:30

開催方法　オンライン　**参加申込**　事前申し込み

申込方法　氏名と電話番号を記入して、メールでecofair@yokkaichi-u.ac.jpまでお申し込みください。後日、発表会のURLをお知らせします。

参 加 費　無料

申込・問い合わせ先

四日市大学 環境情報学部
TEL:059-365-6588（代表）
メール:ecofair@yokkaichi-u.ac.jp

主催：冬のエコフェア2021実行委員会
（四日市大学／三重県環境学習情報センター）

企画展示

開館時間内　観覧無料

開催中 12・1月 「燃料電池車とみえ水素ステーション展」 みえ水素ステーション合同会社

将来のエネルギー資源として、気候変動問題の解決も期待されている水素。この水素を燃料として発電させた電気で走行する燃料電池車は、すでに一般向けに販売されていて、走行時に二酸化炭素や、有害な排気ガスを排出しない環境にやさしい車です。発電した電気は外部への供給も可能で、非常時の電源としても活用できます。
「水素ってなに？」「燃料電池車ってどんな車なの？」「水素ステーションって何をする所なの？」きっと気づきと学びがありますよ！

予告 2・3月 「内部地区のホタル活動報告とホタル教室」 内部ホタルの里を育てる会

四日市市の内部地区は、緑豊かな自然環境があり、沢山のホタルが生息しています。ホタルの1年間の生活について解説します。また、緑豊かな自然とホタルを守り、育てていく活動も紹介します。

報告 10月 特別展 「花王国際こども環境絵画コンテスト作品展【エネルギー】・【森と木】」

世界のこどもたちに身近な生活のエコと地球の環境・未来について、真剣に考え、絵画として表現してもらい、それを多くの人たちに伝えることで世界中の人々が暮らしの中で環境を考えて行動するきっかけとなることを願い、2010年から「花王国際こども環境絵画コンテスト」を行っています。今回は、その中から「エネルギー」と「森と木」をテーマにした作品を展示しました。

報告 10・11月 「未来のために、今を選ぼう。COOL CHOICE」 三重県地球温暖化防止活動推進センター

三重県地球温暖化防止活動推進センターは、地球温暖化の発生メカニズムを理解し、影響を知り、環境対策を探り、環境活動を実践する拠点です。
地球温暖化はどんなしくみで起こるのか、日本で起きている温暖化の影響、2100年の日本の気温上昇の可能性、また気候変動対策の国際的取組として、パリ協定の概要について展示しました。
そして、省エネや低炭素型の製品の選択といった、地球温暖化防止のための、未来のための一人ひとりの「賢い選択」（COOL CHOICE）の大切さを示しました。

三重県環境学習情報センター

講座情報

詳細・申込方法については、ホームページ・チラシをご覧ください

PICK UP

開館時間・休館日のお知らせ

開館時間	午前9時～午後4時
休館日	毎週月・土曜日（祝日を除く）、12月29日～1月3日

今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、講座の延期、または中止となる場合があります。予めご了承願います。

講座予定

環境学習地域リーダー養成講座

ESD実践講座2021

PART1 第1回 12月11日（土） 13:45～16:00
第2回 1月10日（月・祝） 13:45～16:00
PART2 第1回 1月15日（土） 13:45～16:15
第2回 1月29日（土） 13:45～16:15
第3回 2月5日（土） 10:30～16:15

		締切
会場	PART1 第1回 みえ県民交流センター（津市） PART1 第2回・PART2 全回 三重県総合文化センター（津市）	先着順
内容	ESDの理解を深め、参加型学習プログラムをつくるスキルを習得し、SDGs達成のための環境学習指導者を育みます。	

環境学習地域リーダー養成講座

みえ星空環境案内人養成講座 全3回

①2月20日（日）10:00～17:45
②2月26日（土）10:00～18:15
③3月 5日（土）13:30～18:45

		締切
会場	①三重県環境学習情報センター（四日市市） ②四日市市勤労者・市民交流センター（四日市市） ③鈴鹿馬子唄会館、鈴鹿峠自然の家天文台「童夢」（亀山市）	
内容	星と人と環境の懸け橋になる指導者「みえ星空環境案内人」を養成します。また、この講座を通して、全国共通資格「星空案内人（星のソムリエ®）」の取得も目指すことができます。参加費3,500円（教科書代別）	1月19日（水）

環境学習地域リーダー養成スキルアップ講座

YouTubeオンライン配信 私たちの暮らしと気候変動 ～いま三重県で起きていること、これから起きること～

配信期間:3月4日（金）～21日（月・祝）

		締切
内容	三重県を中心に世界や日本で起きている気候の変化や、農業・水産業をはじめ幅広い分野での適応の取組を紹介します。◇三重県の気候 この100年の変化 ◇これからどうなる? 21世紀末の気候予測 ◇緩和と適応 気候変動への2つの対策 ◇三重県で起きている変化と適応の取組 適応の事例紹介	2月27日（日）先着順

環境学習地域リーダー養成スキルアップ講座

みえ星空環境案内人養成講座～特別編～ 2022年の天文現象の紹介

3月12日（土） 13:30～15:00

		締切
会場	四日市市勤労者・市民交流センター（四日市市）	2月24日（木）
内容	「みえ星空環境案内人養成講座」講師の水谷雅寛氏を招いて、2022年の天文現象を中心に初心者から楽しめる天文深堀話を伺います。ご自身の星空案内に活かすヒントがいっぱいです。	

環境学習地域リーダー養成スキルアップ講座

YouTubeオンライン配信

ここが見どころ!冬から春の星座たち

配信期間:3月11日（金）～27日（日）

		締切
内容	3月頃の夜空に見えているのは冬・春の星座です。望遠鏡で楽しめるわかりやすい星団や星雲のお話、どうすれば星が見やすいかなどを解説します。	3月 6日（日）先着順

こども環境講座

真珠と海の環境のおはなし ～真珠の取り出し体験・こども編～

2月26日（土） 11:00～12:30

		締切
会場	四日市地域総合会館 あさけプラザ（四日市市）	2月12日（土）
内容	真珠が育つ海の環境について学びます。海の宝石「真珠」を、アコヤガイからとりだす体験もできます。対象:小学3～6年生（保護者同伴）材料費500円 申込先:四日市公害と環境未来館	

環境講座

真珠と海の環境のおはなし ～真珠の取り出し体験・大人編～

2月26日（土） 14:00～15:30

		締切
会場	四日市地域総合会館 あさけプラザ（四日市市）	2月12日（土）
内容	三重県の特産物「真珠」。人と自然から生み出される真珠の育つ海の環境について学びます。真珠の取り出し体験では、伊勢志摩の養殖業者さんが育てたアコヤガイを使用します。 対象:16歳以上 材料費1,000円	

環境講座

身近な冬鳥を観察しよう

3月5日（土）

令和4年1月初旬以降に
三重県総合博物館MieMuのホームページで
ご確認ください。
申込先：三重県総合博物館MieMu

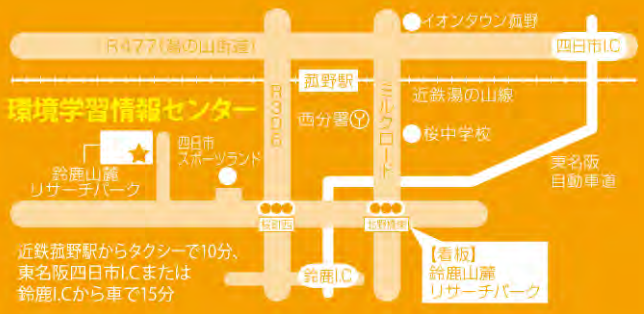
イベント情報

12月18日（土）「冬のエコフェア2021～高校生の環境活動発表会～」 オンライン開催

※「先着順」以外はすべて抽選となります。各講座の詳細につきましては、お問い合わせください。

三重県環境学習情報センター 入館無料

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11

Tel	(059)329－2000
Fax	(059)329－2909
Mail	info@eco-mie.com
HP	https://www.eco-mie.com/
休館日	毎週月・土曜日（祝日を除く）、年末年始（12月29日～1月3日）
開館時間	午前9時～午後4時

Facebook @eco_zou